

環境報告

環境会計

日野自動車では、環境省の環境会計ガイドラインをもとに、環境保全コストと効果を集計しており、費用対効果を定量的に把握することで、効果的な環境投資と継続的な環境負荷の低減に役立てています。

2014年度の環境保全コストは、総額で286億円(売上高比2.3%)で前年比103%でした。一方、環境保全による経済効果は、景気回復を背景にリサイクルによる事業収入の増加と積極的な省エネ投資効果により、24億円と前年比104%となりました。

環境保全コスト

■ 環境コスト

(単位:百万円)

環境保全コスト		14年度実績		13年度実績		前年との差の主な理由 (前年差が20%以上の場合に記入)
分類	主な取り組みの内容	投資額	費用	投資額	費用	
(1) 事業エリア内コスト		1,093	893	606	771	
内訳	① 公害防止コスト	331	482	99	361	重点実施案件「活性炭脱臭装置導入」などにより投資増
	② 地球環境保全コスト	727	47	423	21	CO ₂ 削減積極推進により投資増(例:工場照明LED化など)
	③ 資源循環コスト	35	364	83	389	前年度 重点実施「廃液減容装置導入」等と今年度実施案件との投資金額差で前年比減
(2) 上・下流コスト	環境負荷を減らすための追加的コスト	0	78	0	82	
(3) 管理活動コスト	EMS維持運用、情報公開	0	410	0	424	
(4) 研究開発コスト	環境負荷抑制のための研究開発費	0	26,120	0	25,974	
(5) 社会活動コスト	事業所外の自然保護、緑化、美化等の環境改善コスト	0	4	0	5	
(6) 環境損傷対応コスト		0	0	0	0	
合計		1,093	27,506	606	27,256	—

※環境対応とそれ以外の目的のものとの区別が難しい設備投資などについては、環境対応であることが明確に把握できる項目のみを計上しています

環境保全効果

■ (1) 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:百万円)

	効果の内容	14年度	13年度	前年との差の主な理由 (前年差が20%以上の場合に記入)
収益	リサイクルによる事業収入	1,939	2,076	
	その他()			
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	403	148	CO ₂ 削減積極推進により改善金額増
	省資源またはリサイクル活動による廃棄物処理費の節減	11	28	前年度 重点実施「廃液減容装置導入」等と今年度実施案件との投資金額差で前年比減
	その他()			
合計		2,352	2,253	—

※環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています

■ (2) 物量効果

項目	13年度	12年度
CO ₂ 低減[ton-CO ₂]	4,835	1,821
廃棄物低減[ton]	573	170

※環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています